



今月の主な目次

- サイレージ用トウモロコシについて
- 水田転作に適する牧草
- 春の草地管理
- 厳寒期における哺育管理の留意点
- 雪印の代用乳紹介
- 東北事業部からのごあいさつ

ごあいさつ

平成15年の新春を迎え、皆様のご健勝と、ますますのご繁栄を祈念申し上げ、併せて本年も相変わりがせぬご愛顧と、お引き立てを賜りますよう、切にお願い申し上げます。

昨年の春に、「食」と「農」の再生プランが発表され、引き続き6月には、再生プラン工程表が示され、食の安全と安心確保のための法整備や行政組織の構築がスタートしております。

農業生産との関連では、食品安全基本法（仮称）の趣旨に則し、生産段階での安全確保のための関係法（飼料安全法や農薬取締法、等）見直しが進められています。

また、農林水産業や食品産業等については、従来の生産振興（→廃棄物の産出）から生物系資源の持続的活用（→バイオマスの総合的な利活用）へと抜本的な転換が進められることになり、それらへの対応が迫られてきます。

このような状況のもとで、我が社の取り組みの一部をご紹介致しますと、釧路にて、弊社と日本農産工業、三菱商事の三者出資による飼料生産会社『道東飼料』を起し、新工場の建設を進めて参りましたが、この新春より、本格的な製造と供給を開始する運びとなりました。牛用配合飼料に特化した大規模工場で、BSE

対策の数々を網羅した内容となっております。

一方、種子の精選・加工・包装・発送システムと恒温恒湿貯蔵庫を含む『札幌種子センター』の移築整備が昨年11月に完了し、稼動がスタートしております。種子センターとしては、千葉センター、熊本センターの整備に続くもので、拠点整備がほぼ完了したことになります。

これらの一連の整備によって、品質が安定した製品・種子のご提供はもとより、顧客の皆様、更には消費者の皆様への、安心と信頼をお届けできるよう、施設の有効活用と役職員の意識高揚に努める所存です。

最後になりましたが、昨年1月に発覚しました、雪印食品の食肉偽装事件につきましては、多大なご迷惑とご心配をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。深くお詫び申し上げますとともに、企業倫理の確立と実践に努め、皆様に愛される企業を目指し、役職員一丸となって努力することをお約束致すところです。相変わりがせぬご愛顧とお引き立てを賜りますよう、重ねてお願いを申し上げます、新年のご挨拶と致します。

平成15年 元旦

雪印種苗株式会社

取締役社長 菊地 庸